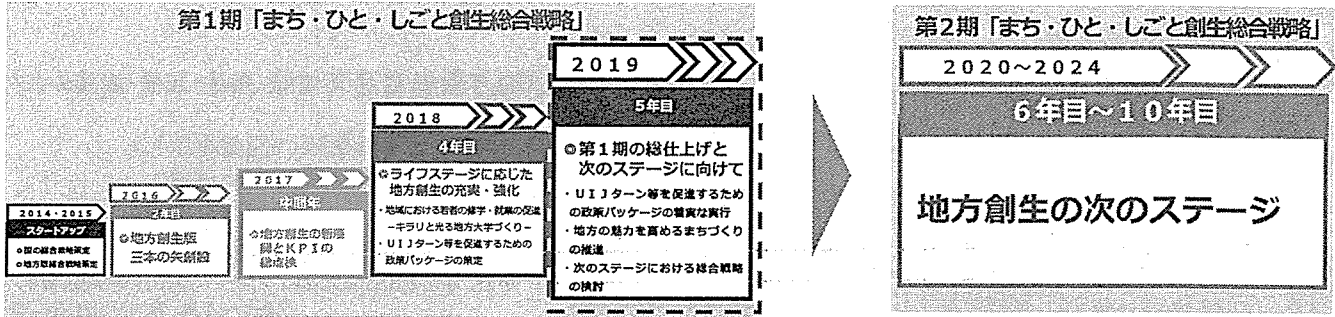


## 第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定に向けて



第2期「総合戦略」策定に関する有識者会議(増田寛也座長)において第1期の検証と第2期に向けた取組を取りまとめ

### まち・ひと・しごと創生基本方針2019

#### ◎基本方針の枠組

- ①第2期(2020年度～2024年度)の基本的な考え方
- ②第2期の初年度(2020年度)に取り組む主な事項

#### ◎スケジュール

- 6/21: 基本方針2019策定
- 12月: 第2期「総合戦略」策定

※12月に示す国の第2期「総合戦略」に基づき、地方公共団体は、地方版総合戦略を策定

## 第2期の方向性

### 第1期(2015年度～2019年度)の枠組

2014年12月策定

#### 長期ビジョン

：2060年に1億人程度の人口を維持する中長期展望を提示

#### 総合戦略

：第1期の政策目標・施策を策定

#### 地方

全ての都道府県、1,740市区町村において策定済み

#### 地方人口ビジョン

：各地域の人口動向、将来人口推計の分析や中長期の将来展望を提示

#### 地方版総合戦略

：各地域の人口動向や産業実態等を踏まえ、第1期の政策目標・施策を策定

#### 4つの基本目標と地方創生版・三本の矢

1. 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする
2. 地方への新しいひとの流れをつくる
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

【地方創生版・三本の矢】情報支援、人材支援、財政支援

### 第2期(2020年度～2024年度)の枠組

第1期での地方創生について、「継続を力」にし、より一層充実・強化

#### (国のビジョン・総合戦略)

◆年内に改訂(ビジョンについては、大きな変更なし)

#### (地方のビジョン・総合戦略)

◆国のビジョン・総合戦略を踏まえ、切れ目なく改訂

#### 4つの基本目標と地方創生版・三本の矢

##### <4つの基本目標>

◆従来の枠組を維持しつつ、必要な強化

・「地方への新しいひとの流れをつくる」の取組の強化

・「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」について、子ども・子育て本部等と連携

◆「人材を育て活かす」「誰もが活躍する地域社会をつくる」観点を追加

◆新たな視点に重点をおいて施策を推進

・新しい時代の流れを力にする(Society5.0等)、人材を育て活かす等

##### <地方創生版・三本の矢>

◆従来の枠組を維持

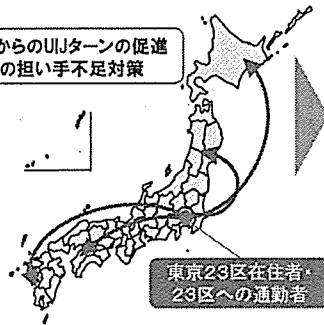
◆地方創生関係交付金については、必要な見直しを実施

## 「関係人口」の創出・拡大①

### 【地方創生推進交付金によるUJターンの推進】(2019年度～)

	地方へ移住 (東京23区在住者又は 23区への通勤者が移住)	
地方での 就業	就業した場合 最大100万円	
地方での 起業	起業した場合 最大300万円 (最大100万円+200万円)	(地方にいたままで) 起業した場合 最大200万円

東京圏からのUJターンの促進  
地方の担い手不足対策



東京23区在住者・  
23区への通勤者

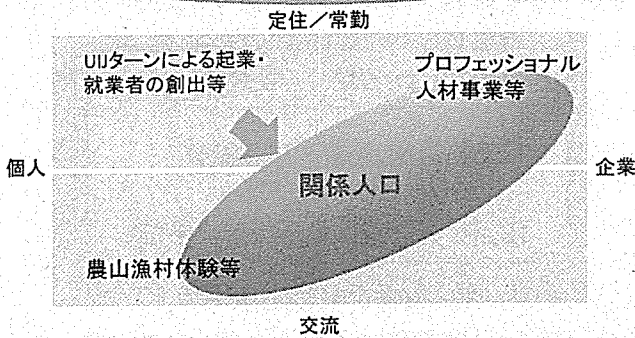
### ○地方創生推進交付金(移住・起業・就業タイプ) (H31.4.1現在)

<交付対象事業数(1回目採択)>  
・38道府県(1,034市町村と連携)

※起業支援金・移住支援金の制度を昨年12月に公表した  
のち、ふるさと回帰支援センターへの相談件数は増加  
(12月～4月、前年比約13%増)

地域課題の解決や将来的な地方移住に向けた裾野を拡大するため、定住に至らないものの、特定の地域に継続的に多様な形で関わる「関係人口」の創出・拡大を目指す。その際、個人と企業の取組を加速。

### 「関係人口」づくりのイメージ



### 地方との縁(関係)が、地方での移住先を決める大きな要因

>地方移住の希望先を選んだ理由と回答割合

- ・自分(または配偶者)の生まれ育った場所だから 35.3%
- ・旅行などでよく行き、気に入った場所だから 32.0%
- ・親(または配偶者の親)の生まれ育った場所だから 13.1%

(出典)平成27年度 地方移住等の実態把握及び今後のあり方に関する調査  
調査結果報告書(平成28年3月) 株式会社日本総合研究所

※地方移住等を志向する者1,552名のうち、地方移住を行いたい  
場所を具体的に選んだ者634名に関するデータ

5

## 「関係人口」の創出・拡大②

### >様々な「関係人口」に関連する 取組を加速化

・プロフェッショナル人材事業

・サテライトオフィス・二地域居住



Sansan株式会社 神山ラボ(徳島)

・サテライトキャンパス



慶應義塾大学鶴岡タウンキャンパス

・地方創生インターンシップ



・子供の農山漁村体験

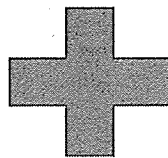


2024年度に小学生、中学生、高校生  
について現在の取組を倍増

### >総合的な情報を集約・発信する拠点を全国 に展開

①特定地域との継続的な関わりを求める  
都市住民等の創出・拡大  
<「ファン」づくり>

②副業・兼業として地域に関わる人材の活用  
<「しごと」づくり>



コーディネーター拠点  
(関係案内所・案内人)

6